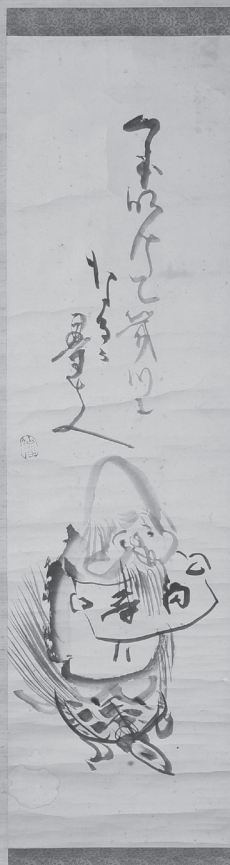


令和7年1月号

令和7年1月1日発行（毎月1日発行）

第26巻 第1号 通巻298号



仙厓「寿老人図」。画賛の句は「歳明けて幾つとなるか寿老人」。寿老人は、七福神の一神、長寿をさずける神である。長頭の老人で、玄鹿を伴っているというが、本画では、瑞亀に乗って、懐紙を広げて見せている。懐紙には「白寿」と書いてあるような気もするが、よくわからない。寿老人の老いの表情がおおらかに描かれていて、楽しい。唇が豊かであり、いかにも語りだしそうである。本画も老いた仙厓の自画像として見てもいいかもしれない。老いをそのまま受け入れ、闊達に生きている仙厓を感じるのだ。瑞亀は頭が細く、目にも後方に線が引かれて、甲羅に生えた毛も後ろになびいて、そうとうにスピードが出ている感じである。時間の流れの早さを意味しているのかもしれない。亀の甲羅の毛と寿老人の髪と顎髭とは呼応しているが、髪と顎髭は垂れるばかりで後ろにはたなびいていない。時間の流れにあらがっているようにも見えて来る。（小澤 實）

澤 1 月号 目次

賀詞……………4

「澤曆」令和七年……………5

澤創刊二十五周年周年記念俳句大会および祝賀会のお知らせ  
せ……………6

速報／第九回澤特別作品賞受賞者……………8

澤三賞(潺潺賞・新人賞・叢林賞)・新同人選考委員……………9

澤通信句会のお知らせ……………10

小澤 實 烏帽子 十五句……………16

高橋睦郎 季語練習帖 第一八一回……………18

潺潺集 小澤 實選……………20

喜び 上村ヒナコ

追ずんだ 小澤たえみ

両脚 嶋田恵一

分別ゲーム 青木弓子

花入れ 豊田・ヌー

実なし味噌汁 結城あき

瓶麦酒 木内繒太

持ち込み禁止 川上弘美

花野 梶等太郎

ストーンサークル 野澤 雄

よく来たね 中田富子

コントラバス 田沼和美

電気柵 余村光世

デブリ 服部つぐみ

木刀 川又憲次郎

亡父 森山くるみ  
落ちもせず 栗生

澤の十句………26

相沢佳子／相澤美穂／青木弓子／青沼まみ／秋山 紅／蘆  
立角翠／天野正子／荒井さくら／有野志げ子／池田慶子／  
池田瑠那／井沢 洋／石田秀子／石橋志野／磯貝一沙／市  
川真冬／伊藤泰子／井上雅恵／今井 恵／石見光夫／江上  
久美子／江藤鳥歩／えんどうようこ／及川 澄／大木圭之  
介／大木由美子／オオタケシゲヲ／大竹安子／大谷景子／  
大塚ふみ／大野善雄／大堀 柔／岡本春水／小澤たえみ／  
押野 裕／小田まり／小日向美春／葛西省子／笠井たかし  
／梶等太郎／片岡昌子／加藤鉦物／角田康輔／金井登子／  
金澤諒和／加納 燕／川口正博／川崎榮子／川邊 満／川  
又憲次郎／上林七葉／木内縉太／蔵田かをり／栗山節子／  
黒澤佳子／今朝／小池風子／兒玉猫只／小林刈穂／近藤信  
男／酒井拓夢／坂口桃子／左官屋宇兵衛／佐藤昭子／篠田  
じゅん子／篠田洋子／柴田忠信／嶋田恵一／下久保はる／  
朱雨／周藤迪之相／白崎俊火／新澤 岳／鈴木尚子／妹尾  
題弘／汕としこ／大文字明成／たが啓子／高野鈴子／高野  
麻衣子／高橋和志／高橋博子／高橋美穂子／竹岡たつ子／

武田円笑／田中兼昭／谷川博子／田沼和美／千葉典子／鶴  
見澄子／寺島 麦／戸川由紀子／戸田いぬぶぐり／戸田  
典々／豊田・ヌー／中川ノエ／中田富子／中村 麻／中村  
敏彦／中山あい／中山雅弘／鍋山紀子／新村秀人／西村  
理／布田恭子／沼田美山／根岸哲也／野口桐花／野崎海芋  
／長谷川照子／早崎直子／半田羽吟／東徳門百合子／菱田  
嘉春／平嶋さやか／平田雅一／廣瀬温代／福原桂子／富士  
峰律子／藤原琴音／冬魚／鳳 佳子／星野れい子／ホンダ  
葉／前島康樹／町田無鹿／松川みゆき／丸田紫苑／水谷敦  
子／水谷り得子／南 幸佑／宮崎鈴子／村上佳乃／村越  
敦／村田さやか／村戸俊子／村戸弥生／望月とし江／森下  
秋露／森永一正／森美代子／森山くるみ／八木橋やえ子／  
矢鳥俊缶／山口土器／山下希記／結城あき／弓緒／吉川千  
早／吉田星潮／吉成沢子／吉村たまみ／余村光世／渡邊蒼  
舟／ゑる吉

鼎談「詠むことと読むこと」令和六年の澤俳句  
大堀 柔／平嶋さやか／木内縉太………50

澤俳句鑑賞 296

山田耕司………58 森山くるみ………60

窓

俳書を読む

山下さき『年木』／河野 真『鷹柱』／常原 拓『王国の名』／佐々木紺『平面と立体』／乾 佐伎『シーラカンスの砂時計』 木内縉太……………62

詩文学芸書を読む

井上正子（井上迅編）『ためさるる日 井上正子日記 1918-1922』 根岸哲也……………64

総合誌俳句鑑賞

「俳句」「俳壇」「俳句四季」各十一月号  
汕としこ……………66

俳句結社誌を読む

「陸」令和六年三月号 梶等太郎……………68

定例句会の秀句 服部つぐみ……………70

通信句会の秀句 蔵田かをり……………72

仙厓のこと 二十二 栗生……………74

潺湲集巻頭作家エッセイ 児玉史湖……………76

澤集巻頭作家インタビュー 江藤鳥歩……………77

「新同人候補者推薦」「同人二〇二四年の一句」  
募集について……………78

俳句を豊かにするもの

祖父の授業 野崎海芋……………79

同人代表句 新村秀人／相澤照子……………80

同人一句鑑賞 佐藤涼子／江藤鳥歩……………81

澤衍……………82

澤四十句 小澤 實選……………84

選後独言

みずみずしい感情を書きとめる 小澤 實……………86

澤集 小澤 實選……………88

楠えり子／花岡安佐枝／信太 蓬／遠藤ちひろ／吉村たま

み／井上雅恵／清水ましろ／江藤鳥歩／上林七葉／加納

燕／妹尾題弘／松川みゆき／吉成沢子

消息……………120

第251回定例会 1月ご案内……………122

澤俳句叢書一覽……………124

雑誌「澤」購読のご案内／購読料更新のお知らせ／

澤基金募集のお願い……………126

投句のご案内……………127

澤句会・カルチャー一覽……………128

広告……………129

後記……………134

デザインⅡ山口信博＋玉井一平

写真Ⅱ大友洋祐 表紙監修Ⅱ栗生

「俳句を豊かにするもの」原稿募集のお知らせ

・編集部では「俳句を豊かにするもの」の原稿を募集しています。

・内容は特に限定しません。「俳句を豊かにするもの」ならばなんでも結構です。

・原稿の分量は26字×37行です。四〇〇字詰の原稿用紙をお使いになる方は、用紙の下部に紙を継ぎ足してお書きください。

・締切は随時。

・郵送の場合は

175-0083 東京都板橋区徳丸4-36-7

沼田美山

・電子メールの場合は

enuma@is5.so-net.ne.jp

宛にお送りください。

・「俳句を豊かにするもの」応募原稿と明記してください。

・採用の可否は編集部にご一任ください。

・どうぞ奮ってご応募ください。

澤編集部

澤  
令和7年1月1日発行  
澤 俳句会  
頒価 1,200円